

ランチョンセミナー12

Luncheon Seminar 12

日時 2025年8月23日(土) 12:20~13:20

会場 第2会場 国立京都国際会館 本館2F
RoomA

〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町422番地

心電図検診判定マニュアルの使用感と 臨床現場への応用： 区分判定の実用性と運用上の課題

心電図の「診断」と「区分判定」のよもやま話：
心電図検診判定マニュアルの使い心地

座長 上嶋 健治 先生

演者 宇治武田病院 健診センター 所長

エビデンスに基づいた
心電図検診判定マニュアル解説

演者 和田 高士 先生

東京慈恵会医科大学 客員教授

本セミナーは事前申込制となります

■事前申込方法

学会ホームページより参加登録を頂き参加登録者のマイページよりお申込みください。

申込期間 2025年6月16日(月)~8月8日(金) (※申込種がなくなり次第、終了)

<https://www.c-linkage.co.jp/dock66/registration.html>

■参加チケット

1) 名札とともにマイページよりダウンロードいただけます。(8月予定)

2) 会場入り口でご提示ください。

3) セミナー開始時刻と同時に無効となりますのでご注意ください。



共催:第66回日本人間ドック・予防医療学会学術大会
フクダ電子株式会社

ランチョンセミナー12

心電図検診判定マニュアルの使用感と臨床現場への応用：
区分判定の実用性と運用上の課題

心電図の「診断」と「区分判定」のよもやま話：
心電図検診判定マニュアルの使い心地

上嶋 健治

宇治武田病院 健診センター 所長

心電図検査は古典的な検査ではあるが、現在でもJ波症候群などの新たな疾患概念が出現しており、応用する知識はup-dateされなければならない。本学術集会の会長であり、本マニュアル作成のワーキンググループ長である榊田出先生は、改訂された「標準12誘導心電図検診判定マニュアル（2023年度版）」について「判定区分を記載した成人の心電図マニュアルは、本マニュアルのほかには見当たらない」と述べている（人間ドック 2023, 37: 771-772）。心電図の判読の最終目的は単に所見を見出すだけでなく、得られた所見の臨床的意義を見極め、然るべき対応をとることにある。本マニュアルはまさにその拠り所になるツールであるが、実際の「使い心地」に関して詳細を耳にすることは少ない。

本講演では、マニュアルの区分判定の谷間とも言えるような、不完全左脚ブロック、洞調律、反時計回転、R波の増高不良、早期再分極(J波)などをテーマに、その「使い心地」を個人の感想として述べてみたい。

エビデンスに基づいた心電図検診判定マニュアル解説

和田 高士

東京慈恵会医科大学 客員教授

日本人間ドック・予防医療学会は、標準12誘導心電図検診判定マニュアル（2023年度版）を公表した。本マニュアルは、心電図自動診断を考える会、日本循環器病予防学会（旧日循協）、日本不整脈心電学会との合同で策定したものである。日本医師会を中心に健診関係10団体で構成された日本医学健康管理評価協議会による健診標準フォーマットで採用された心電図検査標準用語、日循協心電図コード2005（1982年版ミネソタコード準拠）を基に、NIPPON DATA 80の疫学エビデンス等から判定区分を策定したものである。当日は、本マニュアルの解説ならびにマニュアル公開以降に発表された疫学データをも加えた内容をお話する。

共催:第66回日本人間ドック・予防医療学会学術大会
フクダ電子株式会社